

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月27日

上場取引所 大

上場会社名 東邦レマック株式会社

コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 沼田 茂義

TEL 03-3832-0131

四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日

配当支払開始予定日

平成24年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成23年12月21日～平成24年6月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	8,296	7.6	264	6.0	303	14.6	168	15.8
23年12月期第2四半期	7,709	3.6	249	62.7	264	40.7	145	23.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	33.00	—
23年12月期第2四半期	28.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	10,809	5,935	54.9
23年12月期	11,220	5,753	51.3

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 5,935百万円 23年12月期 5,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年12月期	—	7.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	6.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成23年12月21日～平成24年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	△3.7	510	△36.7	550	△34.5	247	△50.1	48.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	5,120,700 株	23年12月期	5,120,700 株
24年12月期2Q	19,237 株	23年12月期	18,287 株
24年12月期2Q	5,101,599 株	23年12月期2Q	5,102,663 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られましたが、新興国の先行き懸念等を背景とした世界経済の減速懸念、深刻化している欧州債務危機問題や株価低迷と長引く円高、電力供給問題の影響等から景気は依然として先行き不透明感の強い状況にあります。

このような状況の下、当社は紳士靴の売上が前年同期を下回りましたが、婦人靴・その他が前年同期を上回った結果、全体でも売上高、売上総利益ともに前年同期を上回ることができました。また営業利益につきましても、販管費が増えましたが、売上の伸びに支えられる形で小幅ながら前年同期を上回ることができました。

経常利益につきましても、前年のような為替差損もなく、順調に推移し、前年同期を上回ることができ、四半期純利益につきましても特別損失の減少等により、前年同期を上回ることができました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は82億96百万円（前年同期比7.6%増）、売上総利益は20億72百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は2億64百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益は3億3百万円（前年同期比14.6%増）となり、四半期純利益は1億68百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ5億43百万円減少し、77億28百万円となりました。これは、主に商品が1億46百万円増加した一方で、現金及び預金が1億27百万円、受取手形及び売掛金が5億83百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億32百万円増加し、30億80百万円となりました。これは、主に有形固定資産が25百万円減少した一方で、投資その他の資産の投資有価証券が1億1百万円、投資不動産が54百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ4億10百万円減少し、108億9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ6億2百万円減少し、43億33百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が1億56百万円、短期借入金が4億円、未払法人税等が90百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ9百万円増加し、5億39百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ5億93百万円減少し、48億73百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1億82百万円増加し、59億35百万円となりました。これは、主に利益剰余金が1億27百万円、その他有価証券評価差額金が54百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)残高は、前事業年度末に比べ2億17百万円減少し、5億1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、4億20百万円(前年同期は5億3百万円の増加)となりました。これは、主にたな卸資産の増加額1億46百万円、仕入債務の減少額1億54百万円、法人税等の支払額2億34百万円等の減少要因があった一方で、税引前四半期純利益が3億3百万円、売上債権の減少額5億77百万円等の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、1億58百万円(前年同期は3百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入1億73百万円等の増加要因があった一方で、定期預金の預入による支出2億59百万円、投資不動産の取得による支出56百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、4億81百万円(前年同期は3億39百万円の減少)となりました。これは、主に短期借入金の減少額4億円、配当金の支払額40百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績は平成24年7月20日発表の「業績予想の修正及び配当予想修正に関するお知らせ」により修正しております。

なお、平成24年12月期通期の業績予想につきましては、国内外の景気の先行き不透明感による個人消費マインドの低下など、今後の見通しに不確実な要素が多いことから、平成24年2月3日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年12月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,703	927,021
受取手形及び売掛金	5,660,001	5,076,250
商品	1,421,415	1,567,777
その他	137,611	158,981
貸倒引当金	△1,742	△1,572
流動資産合計	8,271,989	7,728,459
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	433,118	416,231
土地	1,362,055	1,354,469
その他(純額)	48,879	47,530
有形固定資産合計	1,844,053	1,818,231
無形固定資産	66,547	59,204
投資その他の資産		
投資有価証券	670,732	772,276
関係会社株式	8,368	8,368
投資不動産(純額)	158,144	212,742
その他	205,203	216,364
貸倒引当金	△4,856	△6,293
投資その他の資産合計	1,037,591	1,203,457
固定資産合計	2,948,192	3,080,893
資産合計	11,220,182	10,809,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,494,763	2,338,310
短期借入金	1,250,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	69,760	60,960
未払法人税等	243,353	153,273
賞与引当金	55,365	61,639
その他	823,030	869,771
流動負債合計	4,936,273	4,333,954
固定負債		
長期借入金	66,320	35,840
退職給付引当金	248,148	254,042
役員退職慰労引当金	82,391	90,757
資産除去債務	2,172	2,181
その他	131,471	156,861
固定負債合計	530,503	539,682
負債合計	5,466,776	4,873,636

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	3,870,237	3,997,785
自己株式	△9,822	△10,321
株主資本合計	5,660,574	5,787,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,097	147,937
繰延ヘッジ損益	△266	154
評価・換算差額等合計	92,831	148,092
純資産合計	5,753,406	5,935,716
負債純資産合計	11,220,182	10,809,353

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年12月21日 至 平成23年6月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年12月21日 至 平成24年6月20日)
売上高	7,709,125	8,296,602
売上原価	5,680,382	6,224,121
売上総利益	2,028,743	2,072,481
販売費及び一般管理費	1,779,040	1,807,868
営業利益	249,703	264,613
営業外収益		
受取利息	849	1,577
受取配当金	10,683	9,149
仕入割引	2,677	2,014
受取賃貸料	14,884	16,443
デリバティブ評価益	12,794	—
為替差益	—	5,355
保険解約返戻金	8,266	2,415
その他	6,568	7,826
営業外収益合計	56,725	44,783
営業外費用		
支払利息	4,580	3,321
手形売却損	1,204	1,186
貸与資産減価償却費	993	1,201
為替差損	34,234	—
その他	482	—
営業外費用合計	41,496	5,709
経常利益	264,932	303,686
特別利益		
固定資産売却益	20	351
投資有価証券売却益	940	—
貸倒引当金戻入額	855	—
特別利益合計	1,816	351
特別損失		
固定資産除却損	2,158	257
固定資産売却損	—	88
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,379	—
特別損失合計	11,537	346
税引前四半期純利益	255,211	303,691
法人税、住民税及び事業税	105,407	145,201
法人税等調整額	4,357	△9,877
法人税等合計	109,765	135,324
四半期純利益	145,446	168,367

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年12月21日 至 平成23年6月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年12月21日 至 平成24年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	255,211	303,691
減価償却費	30,540	30,956
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,379	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△855	1,266
受取利息及び受取配当金	△11,532	△10,727
仕入割引	△2,677	△2,014
支払利息	4,580	3,321
固定資産売却損益(△は益)	△20	△263
固定資産除却損	2,158	257
投資有価証券売却損益(△は益)	△940	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,328	6,274
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,313	5,894
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,276	8,366
売上債権の増減額(△は増加)	559,487	577,722
たな卸資産の増減額(△は増加)	73,541	△146,362
仕入債務の増減額(△は減少)	△516,618	△154,438
その他	72,379	24,772
小計	486,925	648,718
利息及び配当金の受取額	11,138	9,614
利息の支払額	△4,371	△3,104
法人税等の支払額	△6,783	△234,599
法人税等の還付額	16,947	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,856	420,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△88,000	△259,000
定期預金の払戻による収入	82,000	173,510
有形固定資産の取得による支出	△5,085	△4,838
有形固定資産の売却による収入	17	13,862
無形固定資産の取得による支出	△1,080	△5,743
投資不動産の取得による支出	—	△56,056
差入保証金の差入による支出	△72	△10,867
差入保証金の回収による収入	21,114	23
その他	△12,624	△8,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,730	△158,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,000	△400,000
長期借入金の返済による支出	△47,580	△39,280
配当金の支払額	△40,740	△40,576
その他	△716	△1,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,036	△481,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,234	1,015
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,854	△217,511
現金及び現金同等物の期首残高	764,544	718,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	891,399	501,101

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。